

# 入院診療計画書② 血管内塞栓術(全身麻酔)

ID: 患者ID

新規作成日: 新規作成日

氏名: 氏名

日付	12月31日	1月1日		1月2日	1月3日 ~ 1月6日
	1日目(手術前日)	手術前(手術当日)	手術後(手術当日)	入院3日目	入院4日目~7日目
目標	治療について理解できる 転倒予防行動ができる		術後合併症を起こさない 安静を守ることができる		日常生活の注意点について理解できる
注射		検査室で点滴を開始します。	治療後も点滴は継続します。	脱水予防のため点滴は継続します。 お食事が摂れる場合は、本日で点滴は終了となります。	
投薬	内服中のお薬を確認します。 入院中の内服は、変更になる場合があります。	内服は中止になります。 麻酔科から内服指示があるお薬のみ内服してください。		昼食後から内服再開です。	
放射線			治療後、頭部CTを撮影します。	頭部MRIを撮影します。	
処置	足の付け根周りの剃毛を行います。 両手首、足の甲の脈拍が触れる位置に印をつけます。	治療用の服に着替えます。 必要に応じて、お小水の管を入れます。	全身状態を観察するため心電図、 血圧計を付けます。	安静解除後、心電図などの機械をはずします。	
食事	食事内容は制限食になる場合があります。 ご希望に応じて、食事の種類を変更できます。 アレルギー食品がある場合はお知らせください。 21時以降は絶飲食です。	絶飲食になります。	基本的には絶飲食になります。 医師の許可がある場合は飲水可能です。	昼食から食事になります。	
清潔	入浴できます。 お一人での入浴が難しい場合は、看護師がお手伝いします。			入浴はできません。 温かいタオルで体拭きをします。	シャワー浴が可能になります。 体を洗う時は、カテーテルを刺した部位を強くこすらないようにしてください。
排泄	一日の排尿/排便回数を覚えておいてください。	治療前にトイレを済ませてください。	術後はお小水の管が入っています。	安静解除後にお小水の管を抜き、トイレに行けるようになります。	
安静度	安静度の制限はありません。 転倒の危険がある場合は、看護師が付き添います。	安静度に制限はありません。 点滴開始後は、点滴チューブに注意し歩行してください。	治療後(カテーテルを抜いてから)、 2~3時間は絶対安静になります。 翌朝までベッド上安静になり起き上がることはできません。 治療後、寝返りができるようになる時間を看護師から説明します。	医師の回診後、安静解除になります。 安静解除後の初回歩行は、転倒の危険があるため看護師が付き添います。 歩行状態に問題が無ければ、お一人で歩行可能になります。	安静度の制限はありません。 転倒の危険がある場合は、看護師が付き添います。
リハビリ	入院中にリハビリはありません。				
看護ケア	体温、脈拍、血圧を測定します。 頭痛は吐き気、手足の動かしにくさの有無を確認します。 手足の動脈触知を確認します。		帰室してから6時間後まで2時間毎に体温、脈拍、血圧を測定します。 また、意識の状態や手足の動かしにくさの有無、治療部位の状態を観察します。  6時間後~翌朝までは4時間毎に観察します。	午前・午後に検温を行います。 カテーテル抜去部の観察を行います。 痛みや腫れがある場合は我慢せずお知らせください。	
指導	医師から治療についての説明があります。 看護師が入院生活について説明があります。 薬剤師が服薬指導を行います。			退院後も指示された内服は継続してください。 カテーテル抜去部に出血や腫れが見られた場合は受診しましょう。 手足のしびれや動かしにくさがある場合は、すぐに受診しましょう。 脱水予防のため、水分をしっかり摂りましょう。	